

2017年10月20日

防衛大臣 小野寺五典 殿
百里基地司令 柏瀬静雄 殿

日本共産党茨城県委員会

委員長	田谷 武夫
同 茨城県議会議員	山中たい子
〃	江尻 加那
〃	上野 高志

F 4 戦闘機事故にともなう訓練中止と観閲式中止の申し入れ

10月18日、航空自衛隊百里基地所属のF4戦闘機の主脚が折れ、誘導路上で黒煙を上げる出火事故が発生した。

同基地では、10月29日に予定されている観閲式にむけ、環境基準を大幅に上回る爆音をまき散らし、激しい訓練が連日行われている。

この間、県内の平和・民主団体が航空観閲式について、▽オスプレイを含む米軍機の参加はあるのか▽他の基地から兵器が持ち込まれているのか▽事故対策をどう考えているのか、などの質問書を提出しているさなかの事故となった。

10月17日には航空自衛隊浜松基地の救援ヘリコプターが浜松市内で墜落する事故があった。11日も沖縄県で米軍の大型ヘリコプターが東村高江に墜落する事故があった。今年に入って5件の事故が起き、「事故が立て続けに起きて心配だ」「一歩間違えれば大惨事となる」と住民から不安の声が上がっている。地域住民の人命と生活を脅かす事故は絶対にあってはならない。

F4戦闘機は老朽化がすすんでいる。ただちに飛行をやめることを求める。航空観閲式は中止すべきである。

次のとおり緊急に申し入れる。

記

1. 事故の原因を徹底究明し、再発防止対策を確立する。その結果を速やかに住民に公表すること。
2. 事故を起した同型機をはじめ、基地所属すべての戦闘機の飛行を中止し、機体の総点検をおこなうこと。
3. 今回の航空観閲式を中止すること。

以上